

令和6年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
子育てセンターしんぱら

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 7 年 2 月 5 日 13:15 ~ 14:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

「しあわせいろのたねまこう」
豊かな生活体験や遊びを通して、健康な心と身体づくりをします。
たくさんの可能性を秘めた種を蒔き、あそびや活動を通して成長していくために大切な土台を、家庭と協力して作ります。

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

「しんぱらっていいな」
前年度「いっしょにやってみよう」のテーマのもと、友だちといっしょ、先生といっしょ、家族といっしょ、地域の方等といっしょに、様々な人や異年齢の関わりの中で、人とのつながりを大切に、互いに支え合い、子どもたちのやってみようとする気持ちを大切にしてきました。今年度も引き続き子どもたちの気持ちに寄り添いながら、さらに子育てセンターしんぱらで大切にしてきた活動やつながりを、ひとつひとつ丁寧に直視し、子どもたち、保護者の皆様、職員、地域の皆様が「しんぱらっていいな」と思えるような教育保育を楽しみたいと思います。

職員の具体的な取り組みとして、7つの活動に専門性を持って取り組めるよう、職員間で学び合い、計画・実践します。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none">指導計画の立案や実践に反映させて、日々意識をしながら教育保育を行っています。玄関、事務所、休憩室等、目に入る所に掲示しているため、意識を継続して持ちやすいです。保護者にも配布・説明し、共有しています。	4	<ul style="list-style-type: none">見える場所に掲示がしてあるため、意識を持ち、取り組むことができている。グランドデザインが頭に入りやすく、理解しやすい内容で良い。職員が目標を理解し、子どもに関わることができている。また、保護者にも伝わっている。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	<ul style="list-style-type: none">子どもの発達に合わせて、指導計画を作成し、実践しています。異年齢で過ごす中で、発達段階に合わせた玩具の提供について考慮しています。子どもたちが過ごしやすいよう、季節に応じて環境を整えています。活動は短期間ではなく、継続して行うことができるよう配慮しています。一人ひとりが興味のある遊びを十分楽しめるよう、ランチタイム制を導入し、活動時間の幅を広げました。個々の様子を職員が共有していますが、満足できるまで遊べる環境づくりは引き続き課題です。	4	<ul style="list-style-type: none">教育保育テーマが、分かりやすく活かされている。計画の立案も分かりやすく、継続につながっている。課題に取り組みながら、引き続き継続して活動を行ってほしい。7つの活動が年齢に応じて行われている。横のつながりが活かされている。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども主体の保育に取り組み、異年齢の関わり、コーナー遊び、ランチタイム等を行っています。 ・子どもに寄り添い、認める言葉掛けを心掛けています。 ・地域の方との関わりや、保育体験、ボランティア、デイサービス訪問等を再開し、関わりを広げることができました。より多くの人と関わられるよう、今後も計画します。 ・園や周辺環境を活かした活動ができています。四季の自然に触れた活動を十分楽しむことができるよう、工夫しています。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に就学した子ども自分らしさを発揮することができていて、園での生活が活きていると感じる。 ・職員が子どもたち一人ひとりを大切にしてくれており、笑顔で過ごすことができている子が多いと感じる。 ・身近な自然やいろいろな人と関わりを持つことができている。他の園との交流の機会(4園交流等)もあって良い。 ・個性を大切にしながらも、必要な教育は行っていく必要がある。(性教育)
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡ノート等を通して、日常の関わりを大切にしています。保育参加や個人面談等、相談できる場を整え、相談しやすい環境作りを行っています。 ・子どもの様子や園の情報はおたより・ブログ・掲示の積極的な発信に心掛け、周知しています。 ・地域の情報も共有しています。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・深いコミュニケーションをとることができていると感じる。ブログも努力が伝わってくる。 ・行事に参加できる家族が増え、良かった。行事を通して、友だちの家族と交流できる点も良い。 ・情報を捉える場となっている。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・広く地域の方が利用できるよう、園も支援ひろばも気軽に訪ねられる環境を整えています。園の情報を発信したり、相談の体制も整えています。 ・困り感のある家庭には園だけでなく、行政機関等とも連携し、対応しています。 ・今年度より、土曜日や長期休暇の際に園の開放を行っています。利用も増加傾向にあり、ニーズの高さを感じています。 ・担当職員以外も支援ひろばの取り組みを深く理解し、地域と繋がれるよう学んでいきたいと考えています。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに不安がある中で、園に支援ひろばが併設されており、利用できるのは良いことである。土曜日や長期休暇の際の園の開放は継続し、ニーズに添えていってほしい。 ・それぞれの担当職員同士の連携がよりよく取れるよう、取り組んでいる。 ・地域他機関との連携もあるので良い。
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・得意分野を活かした配置の中で業務ができています。幅広い年代のスタッフが揃っていて、個性を強みにできています。 ・研修の機会が多いため、学びが多く、自らのスキルアップのために研修を受ける職員も多くいます。また、参加した研修を報告し合い、学びを広げることができています。保育に活かせるよう話し合いや実践も行っていますが、より共有し、深めていきます。 ・職員間で報連相等コミュニケーションに努めています。休憩時間でリフレッシュしていますが、行事等によりとれない日もあるため、引き続き園全体で協力し合っていきます。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命な職員が多いと感じる。 ・個性をどのように活かしているか、自ら学ぶ職員も多くいること等が分かった。 ・笑顔で楽しそうに働いているので、やりがいを感じていると思った。 ・子どもと接する楽しさがある一方、事務仕事もあり大変なのではないかと感じる。